



学習会

# 辺野古新基地建設を止めるには

— 沖縄県の対抗策を学び、私たちにできることを考える —

**2017年9月1日(金) 18時半～**

**中野区産業振興センター 地下多目的ホール**

JR 中野駅南口下車 徒歩 5 分

※裏面に地図あります

**講師：白藤博行さん**

(専修大学法学部教授 / 行政法・地方自治法)

最近、『地方自治法への招待』(自治体研究社)を上梓されました。他に『新しい時代の地方自治像の探求』(自治体研究社)、『辺野古訴訟と民主主義』(共著、日本評論社)、『Q&A 辺野古から問う日本の地方自治』(共著、自治体研究社)などの著書があります。「辺野古訴訟支援研究会」の一員として、沖縄県の弁護団とも活動しています。

沖縄県は、7月24日、国を相手にした辺野古新基地建設の差止めを那覇地裁に提訴しました。国が、県の岩礁破碎許可を得ずに工事を進めるのは違法だという趣旨です。今後は埋め立て承認の撤回を視野に入れた法廷闘争が予想されます。沖縄県民の度重なる「辺野古ノー」の意思表示を無視して工事を強行する日本政府。学習会では、行政法・地方自治法の専門家である白藤博行さんに、米軍基地建設に関する行政、司法の問題点及び県はどのような方法で対抗できるのかお話ししてもらいます。白藤さんは1996年の故・大田昌秀沖縄県知事の「代理署名」裁判にもかかわっておられた、沖縄と縁の深い研究者です。白藤さんのお話しをうかがい、私たちになにができるのか、ともに考えていきましょう。



資料代 500円

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック(090-3910-4140)

学習会

# 辺野古新基地建設を止めるには

— 沖縄県の対抗策を学び、私たちにできることを考える —

**2017年9月1日(金) 18時半～**

**中野区産業振興センター 地下多目的ホール**

JR 中野駅南口下車 徒歩 5 分

